

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所
162-0805 東京都新宿区矢来町 65
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「十字架と復活」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

「神は、御心のままに、満ちあふれるものを余すところなく御子の内に宿らせ、その十字架の血によって平和を打ち立て、地にあるものであれ、天にあるものであれ、万物をただ御子によって、御自分と和解させられました。」(コロサイ1:19-20)

1月の末に大韓聖公会の主教さんや司祭さんたちと郡山を訪問し、富岡町・双葉町・浪江町と福島第一原子力発電所の近くを通りながら常磐道を北上しました。富岡町の帰宅困難地域の前まで行き、4年前の津波被災当時のままの町並み、マスクのみを付けた除線作業員や警備員の方々が昼間は働いていましたが、誰も住めない町並みを目の当たりにしてきました。移動する車内ではガイガーカウンター（放射能測定器）の警報音が鳴り響き、福島第一原発に近づくにつれて上がり続ける数値に恐怖を覚えました。常磐道はバイクの通行禁止、車も駐停車禁止で所々に放射線量モニターが設置されていました。大震災から4年が経ちましたが、今も故郷に帰れない方々がたくさんおられることに心が痛みます。また、線量が高い地域に住み続けざるを得ない方々の苦しみや不安な気持ちに、いつも寄り添えていない自分がいることを思い知りました。

そんな中、先日4電力会社5基の原発の廃炉が正式に決定されました。数百年、数千年、数万年以上も管理が必要となる放射性廃棄物を負の遺産として未来の子どもたちに押しつけていいのでしょうか。目先の利益のためにとんでもない過ちを犯しているように思えてならないのです。

十字架のイエスさま・復活のイエスさまは、徹頭徹尾、他者のため、私たちのいのちのために生きられたこと、原発の問題は、教会の外の社会的な課題ではなく、私たちの信仰の課題であることを再認識したいと思います。管区の「原発と放射能に関する特別問題プロジェクト」の働きのためにと、ささげられた献金が

□会議・プログラム等予定

(3月25日以降および
前回報告以降追加分)

3月

- 25日(水) 管区共通聖職試験委員会〔管区事務所〕
- 25日(水) 主事会議〔管区事務所〕
- 26日(木) 教役者遺児教育基金運営委員会・建築金融資金運営委員会合同委員会〔管区事務所〕
- 26日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕
- 26日(木) 女性の聖職に関わる特別委員会〔管区事務所〕

4月

- 11日(土) 正義と平和・憲法プロジェクト〔中部教区センター〕
- 13日(月) 聖公会／ルーテル合同委員会〔管区事務所〕
- 14日(火) 正義と平和委員会〔京都教区センター〕
- 15日(水) 年金委員会・年金維持資金管理委員会〔管区事務所〕
- 17日(金) 臨時主教会〔KKR 大阪〕
- 18日(土) 大阪教区主教挨拶・就任式〔川口基督教会〕
- 20日(月) 法憲法規委員会〔管区事務所〕
- 21日(火) 常議員会〔管区事務所〕
- 22日(水) 人権セミナー準備会〔広島復活教会〕
- 24日(金) 青年委員会〔管区事務所〕

5月

- 7日(水) 原発問題プロジェクト運営委員会〔管区事務所〕
- 12日(木) ウィリアムズ主教記念基金運営委員会〔立教〕
- 18日(月)～20日(水) 新任人権研修会〔大阪城南キリスト教会〕
- 21日(木) 礼拝委員会〔管区事務所〕
- 21日(木) 祈祷書改正準備委員会〔管区事務所〕
- 28日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕
- 28日(木)～6月1日(月) 第4回韓国社会宣教スタディーツアー〔韓国・ソウル〕

(次頁へ続く)

毎日毎日届いています。大切な課題として覚えてくださっていることを心より感謝申し上げます。

もうすぐ復活日を迎えようとしている私たちですが、イースターの喜びを、悩み苦しみの中にある一人でも多くの人と分かち合うことができますようにと、願い・祈り・行動する者でありたいと思います。

(前頁より)

<関係諸団体等会議・他>

- 4月7日(火) 聖公会神学院入学式〔聖公会神学院諸聖徒礼拝堂〕
- 8日(水) ウィリアムス神学館入学式〔京都教区主教座聖堂〕
- 23日(木) 日キ連常任委員会・総会・講演会〔日本カトリック会館〕

＊ 4月3日(金) は受苦日のため、管区事務所業務をお休みいたします。よろしくお願ひいたします。

□各教区

京都

・「小松集会」2015年2月1日をもって宣教活動を正式に終了。

神戸

・ 聖職按手式 2015年3月21日(土) 10時半(9時半より朝の礼拝) 神戸聖ミカエル大聖堂 説教:司祭 ダニエル山野上素充(大阪教区) 司祭按手: 志願者 執事 ミカエル杉野達也 執事按手: 志願者 聖職候補生 セバスチャン 浪花朋久

沖縄

・ 第61(臨時)教区会 2015年3月15日(日) 16時～17時 沖縄教区・教区センター 課題:(1) 主教座聖堂隣接地購入の件。(2) 隣接地購入によって発生する設計変更は、主教座聖堂建設委員会に委ねる件。

□神学校

聖公会神学院

・ 2015年度入学礼拝 4月7日(火) 14時 聖公会神学院諸聖徒礼拝堂 司式:司祭 佐々木道人 説教:中部教区主教 洪澤一郎 入学予定者: :マリア 小林玲子(中部)、マルコ 福田弘二(北関東)

ウィリアムス神学館

・ 2015年度入学礼拝 4月8日(水) 13時半 京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会) 司式:主教 高地 敬 説教:司祭 吉田雅人 入学予定者: アンデレ松山健作(京都)、ア

ンデレ江渡由直(京都)、ヒューム ウィリアム ユーワン(大阪)

□関係諸団体

聖公会出版の事業として、今までは新聞、出版、書店と3つの部門がありましたが、今回、書店部門の“聖公書店”の営業母体が日本聖書協会に変わります。礼拝用書等の発行は管区事務所です。今まで通り聖公書店を通して各所へ頒布いたします。その他の書籍についても、今まで通り聖公書店へご注文ください。そして、聖公会出版に関しては事務所が移転されるということです。

★ 書籍注文に関しては、下記宛てにお願いします。

・日本聖書協会直営 聖公書店
住所:〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山1-5-1
電話:04-2900-2771 FAX:04-2900-2722
メール:seikoshoten@bible.or.jp

★ 聖公会出版は出版刊行部門・新聞発行部門の業務を継続します。

4月1日付で本社事務所を移転します。
住所:〒170-6045 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 45階

★ 新聞購読(新規・継続・中止)、新聞広告の申込、出版刊行や新聞編集に関する問合せは、下記宛てにお願いします。

・有限会社 聖公会出版
電話:03-5979-2252 FAX03-5979-2253
メール:kodoku@seikokai-pub.com(購読)
kokoku@seikokai-pub.com(広告)
info@seikokai-pub.com

(出版・新聞編集)

† 逝去者

靈魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

主教 クリストファー木川田一郎 (元大阪教区主教および日本聖公会首座主教・退職)

2015年3月18日(水) 逝去(89歳)

《人 事》

北海道

司祭 パウロ横山明光	2015年3月31日付	聖マーガレット教会牧師の任を解き、定年退職とする。
	2015年4月1日付	主教ナタナエル植松誠管理のもと、聖マーガレット教会での嘱託司祭を委嘱する。(任期1年)
司祭 ハンナ石坂みゑこ (東京教区よりの出向)	2015年4月1日付	小樽聖公会牧師の任期をさらに1年更新する。(任期1年)
主教 ナタナエル植松 誠	2015年4月1日付	聖マーガレット教会管理牧師に任ずる。
司祭 ラザロ雨宮大朔	2015年4月1日付	網走聖ペテロ教会嘱託司祭を委嘱する。(任期1年)
司祭 パウロ内海信武	2015年4月1日付	平取聖公会及び新冠聖フランシス教会の嘱託司祭及びバチラー保育園チャプレンを委嘱する。(任期1年)
司祭 アンデレ甲斐博邦	2015年4月1日付	道北分区における嘱託司祭及び深川あけほの保育園チャプレンを委嘱する。(任期1年)
司祭 ダビデ藤井八郎	2015年4月1日付	函館聖ヨハネ教会及び今金インマヌエル教会嘱託司祭を委嘱する。(任期1年)

東北

司祭 アタナシオ笹森伸兒	2015年4月1日付	主教ヨハネ加藤博道のもとで、仙台聖フランシス教会において、嘱託として勤務することを委嘱する。および教区主教の要請により、その他教会・伝道所での礼拝に協力する。(任期1年)
司祭 コルネリオ斎藤雄一	2015年4月1日付	司祭ステパノ涌井康福のもとで鶴岡聖公会において、嘱託として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 ヨハネ佐藤真実	2015年4月1日付	司祭フランシス中山茂のもとで、八戸聖ルカ教会において、嘱託として勤務することを委嘱する。(任期1年)
執事 ヨハネ金子昭三	2015年4月1日付	司祭ヤコブ林国秀のもとで、盛岡聖公会において嘱託として勤務することを委嘱する(任期1年)
<信徒奉事者認可> (釜石神愛教会)	2015年2月24日付	カタリナ高橋仁美

東京		
司祭 ダビデ倉澤一太郎	2015年1月31日付	聖愛教会牧師補の任を解く
	2015年2月1日付	聖愛教会副牧師に任命する
	2015年4月1日付	東京聖三一教会副牧師に任命する
司祭 エドワード鈴木裕二	2015年3月7日付	聖愛教会管理牧師の任を解く
司祭 セラピム高橋 顕	2015年3月8日付	聖愛教会管理牧師に任命する
	2015年3月31日付	聖愛教会管理牧師の任を解く
	2015年4月1日付	聖愛教会牧師に任命する
司祭 アンデレ橋本克也	2015年3月31日付	定年により退職、神田キリスト教会牧師の任を解く
	2015年4月1日付	池袋聖公会嘱託を委嘱する(任期1年)
司祭 ヨハネ山口千壽	2015年3月31日付	定年により退職、聖パウロ教会牧師及び東京聖マリア教会管理牧師の任を解く
伝道師 ヨハネ橋本 守	2015年3月31日付	定年により退職とする
司祭 フランシス下条裕章	2015年3月31日付	立教女学院への出向を解く
	2015年4月1日付	聖パウロ教会牧師に任命する
司祭 フランシスコ・ザビエル高橋宏幸	2015年3月31日付	三光教会協力司祭の任を解く
	2015年4月1日付	東京聖マリア教会管理牧師に任命する
司祭 パウロ佐々木道人	2015年3月31日付	神愛教会管理牧師の任を解く
司祭 アンデレ香山洋人	2015年3月31日付	千住基督教会牧師の任を解く
司祭 バルナバ前田良彦	2015年3月31日付	聖マーガレット教会牧師の任を解く
	2015年4月1日付	聖アンデレ主教座聖堂付とする
司祭 ペテロ井口 論	2015年4月1日付	池袋聖公会管理牧師に任命する
司祭 パウロ中村 淳	2015年3月31日付	東京聖マルチン教会牧師、及び池袋聖公会管理牧師の任を解く
	2015年4月1日付	千住基督教会牧師及び神愛教会管理牧師に任命する
司祭 ステパノ卓 志雄	2015年4月1日付	東京聖マルチン教会管理牧師に任命する
司祭 アンデレ中村邦介	2015年3月31日付	聖マルコ教会牧師の任を解く
	2015年4月1日付	聖公会神学院への出向を許可する
主教 アンデレ大畑喜道	2015年4月1日付	神田キリスト教会管理牧師に任命する
	2015年4月1日付	聖マーガレット教会管理牧師に任命する
	2015年4月1日付	聖マルコ教会管理牧師に任命する
司祭 ビカステス今井丞治	2015年4月1日付	聖アンデレ主教座聖堂嘱託(八王子地区ミッショナー)を委嘱する(任期1年)
司祭 イサク小笠原愛作	2015年4月1日付	小笠原聖ジョージ教会嘱託を委嘱する(任期1年)
司祭 テモテ小笠原忍	2015年4月1日付	聖アンデレ教会嘱託を委嘱する(任期1年)
司祭 テモテ河野裕道	2015年4月1日付	環状教会グループ担当の嘱託を委嘱する(任期1年)

司祭 バルトロマイ竹内謙太郎	2015年4月1日付	聖アンデレ主教座聖堂囑託を委嘱する(任期1年)
執事 アンデレ小野里俊一	2015年4月1日付	聖アンデレ教会囑託を委嘱する(任期1年)
執事 トマス日高馨輔	2015年4月1日付	聖アンデレ教会囑託を委嘱する(任期1年)

中部

司祭 ダビデ相澤 晃	2015年4月1日付	司祭アンブロージア後藤香織のもとで、名古屋聖ヨハネ教会において原則として主日礼拝への協力を委嘱する。(任期1年)
司祭 ヨシユア鈴木光信	2015年4月1日付	4月1日より、司祭エリエゼル中尾志朗のもとで長岡聖ルカ教会において、司祭フィデス金善姫のもとで新生礼拝堂及び飯山復活教会において、5月1日より、司祭イグナシオ丁胤植のもとで稲荷山諸聖徒教会において、原則として主日礼拝への協力を委嘱する。(任期1年)
司祭 パウロ西澤誠太郎	2015年4月1日付	司祭イグナシオ丁胤植のもとで稲荷山諸聖徒教会において原則として主日礼拝への協力を委嘱する。(任期1年)
執事 ヨハネ大和田康司	2015年4月1日付	司祭テモテ野村潔のもとで、名古屋聖マルコ教会において原則として主日礼拝への協力を委嘱する。(任期1年)
司祭 アンブロージア後藤香織	2015年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)
司祭 ペテロ田中 誠	2015年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)
司祭 テモテ野村 潔	2015年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)
司祭 マルコ箭野眞理	2015年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)
司祭 テモテ島田公博	2015年4月30日付	稲荷山諸聖徒教会主日勤務を解く。

京都

<信徒奉事者認可> (上野聖ヨハネ教会)	2015年3月1日付 ルカ木村直史
-------------------------	----------------------

《教会・施設》

聖マルコ幼稚園(横浜)	2015年3月31日付 2015年4月1日付	司祭エドワード宇津山武志園長の任を解く。 黒岩聖子を園長に任命。
-------------	---------------------------	-------------------------------------

<2015年「沖縄週間／沖縄の旅」へ向けて>

命どう宝

～いのちより他のものを優先する社会に「否」を言う～

『キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい』

(コロサイの信徒への手紙3：15)

★沖縄週間／沖縄の旅 2015年6月20日(土)～23日(火)

管区・正義と平和委員 司祭 ヨシユア 長田吉史

1995年から「沖縄教区の置かれている沖縄の現実、とくに正義と平和に関する課題を、日本聖公会全体の宣教に有機的につながる重要な宣教的課題として広く共有する」を目的として、『沖縄週間／沖縄の旅』がはじまり、今年で20年目となりました。また同時に今年には戦後70年、さらに壮絶な地上戦となった沖縄戦から70周年の年でもあります。

これまでの間、この『沖縄週間／沖縄の旅』にはたくさんの方々に参加され、それぞれが沖縄で生きる方々との交わりを通して学んでこられたはずです。それでも、まだまだ沖縄の実情を知らない人が多いのです。知らないのに、自己主張をする。私もそうでした。自己主張をしたことはありませんが、昨年からのプロジェクトの委員会に出席するようになって、初めて知ることもばかりです。それは委員会の中だけではなく、特に沖縄で生きる人と出会う中で知ることがたくさんです。でも、まだまだです。もっと沖縄で生きるたくさんの方々に出会っていきたい、それが今の私の思いです。だから、『来て、見なさい』とのみ言葉通り、いろいろ言う前に、まず沖縄に来て、その現実を皆さんの目で見、耳で聞いて、手で触れて、心で感じてほしいのです。「豊かな自然を守りたい、平安のうちに暮らしたい」そのように思わない人がどこにいますでしょうか。

国土の0.6パーセントである沖縄県に、米軍基地の約75パーセントを集中させ、さらに美しくも恵み豊かな自然を破壊してまでも戦争につな

がる軍事基地を辺野古・大浦湾に造ろうとしているのです。

今年の『沖縄週間／沖縄の旅』の主なプログラムは、初日に「ひまわり」という映画を見ます。これは1959年6月、嘉手納基地を飛び立った米軍ジェット戦闘機が操縦不能となって、民家35棟をなぎ倒して宮森小学校に墜落し、死者17人、重軽傷者210人、全焼・半焼の校舎や民家を41棟も出した大惨事を伝える映画です。二日目には分宿先の沖縄教区各教会から普天間基地と嘉手納基地を見た後、映画「ひまわり」の脚本の元となった被害者や遺族の証言集をまとめた久高政治さん(当時宮森小学校5年生)の講演を聴きます。三日目には辺野古に向かい、共に過ごし、出会いと学びの時を持ちます。ご存知の通り、日米政府は今、「世界一危険な普天間基地の負担を軽減するために」という名目で、民意に耳を傾けずに辺野古・大浦湾にV字型滑走路を備えた新基地を造ろうとしています。しかし普天間で危険にさらされている命も、辺野古・大浦湾で危険にさらされている命も、もっと言えば、突如として空から危険が降ってくる沖縄県全体の命も、同じかけがえのない命です。基地をどこかに移せばいいわけではありません。同じ過ちを繰り返さず、みんなで「この道はいつか来た道」であることに気づき、「宣教・牧会の10年」の提言にある「いのちより他のものを優先する社会に「否」を言う」心を育てたいのです。そして

最終日には日本聖公会の各教区主教も集われる予定の沖縄教区「慰霊の日」礼拝に参加します。

かけがえのない命が傷つけられ続けている沖縄を、来て、見てください。そして皆さんの目と耳と手と心で、知ってください。聞いてください。

触ってください。感じてください。そして、『キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい』のみ言葉に従っていきたいと思います。たくさんの方々の、特にまだ参加されたことのない方々、若い世代の方々の参加をよろしくお願いいたします。



第4回全国U26集会の報告

下条あすか（東京教区）

第4回U26集会は、2月20日から22日の2泊3日、市川市少年自然の家で行なわれました。今回は8教区から、31名の青年が参加しました。

1日目は、開会礼拝とレクリエーションの後、「教会の〇〇なところ」をテーマに少人数で分かち合いを行ないました。自分にとって教会はどんなところか、教会で過ごしていて日頃感じていることなどを振り返りながら、お互いの教区や教会、個人のことを知る時間になりました。

2日目は、それぞれの地域でどのような活動があるのか知るため、各教区の青年活動の紹介・報告をしました。そしてその後、教区毎に分かれたグループを二つずつ組み合わせ、「アクションプラン」というものを作りました。これは、このU26集会で出会った青年が中心となって、計画したことを1年以内に実行し、来年のU26集会で報告することを目指す企画です。「隣の教区と一緒に聖書研究を定期的に行なう」「U26集会の参加者が少ない教区に赴き、青年を発掘する!」など様々な計画が立てられました。青年担当者の方にも相談に乗っていただき、実現に向けた具体的な話し合いをす

ることもできました。午後からのバイブルシェアリングでは、ローマの信徒への手紙12:9-21を少人数グループに分かれて読み、感じたことやそれぞれの解釈などを分かち合いました。今まで疑問に思っていたことが解消されたり、新しい聖書の読み方ができたり、各々持ち帰るものがあつたようです。息抜きのミニ運動会の後は、興味のあるテーマごとに分かれ、それについて深く話し合う分科会を行ないました。

最後の分かち合いは、今回の集会のテーマである“ComPassion”がテーマでした。このテーマには、「Com:共に」「Passion:情熱、苦し



み」という意味が込められています。それぞれが人生で感じてきたComPassionに触れ合うことで考えや想いを深めあうことができました。夜はキャンドルサービス。部屋の明かりを消してろうそくの灯を囲み、祈りの歌をささげました。忙しい日常の中では静かに祈る時間を持つことはなかなか難しいので、貴重な時間となりました。

最終日の午前中、み言葉の礼拝をささげ、それぞれの帰路につきました。

今年もU26集会を開催できたことを、心から

嬉しく思います。今回は青年担当者会と同時開催だったので、食事、朝晩のお祈りの時間やアクションプラン発表の時間などを共に過ごすことができました。いつも活動を支えてくださっている青年担当の方々と交わりの時を持てたことで、とても意味のある、有意義な集会になったと思います。

この集会に関わってくださったすべての方々、そして神様に感謝します。ありがとうございました。

